



楠公の里瓦版

第15号 平成25年5月 5日

金剛山千早赤阪倶楽部

(連絡先) 西野敏彦 090-6326-0497
奥田佳三 090-5040-1923
辰巳 晃 090-3973-2931
(編集) 細井戸伯博



イベント組全員集合です

日 報 4月28日(日)晴 参加者 32名

参加者 岩山桂、新田善久、奥田佳美、西野敏彦、北野勝、吉田純子、鳥井三枝子
辰巳晃、石田新、赤木久万雄、藤田憲一、桑原里美、田中由美子、野見山妙子
津村ちゑ子、池田昭子、正木信子、河本房江、江角美榮子、松田玲子
植木朋子、仲谷とも子、山本千加子、菊井由起子、山本庄一郎、織井芳子
桑島操、高見義一、花坂勝利、細井戸伯博、細井戸美紀子

作業行程 ① 作業(登山道整備作業)

② イベント参加(「山の春まつり in 金剛山」体験トレッキングサポート)

9時に二河原邊集会所に集合し、簡単な自己紹介の後、登山道整備(8名)とイベント(体験トレッキングサポート)(24名、後で5名合流)のグループに別れ、イベント組みは4台に分乗し受付・スタートの「まつまさ」前まで向かいました。

「親子でトレッキング」のサポーターとして参加して

記：田中由美子

新緑、木漏れ日の中から、ときおり風を感じる。
階段を登り、汗が流れる気持ち良さを体感。一步一步
階段を登っていく。ちょうど良い階段の高さに山頂近
くになると、ありがたみが増してきました。
手すりを何度ぎゅっとにぎりしめたことだろう。
道を整備された方の心づかい、登山者への配慮が伝わ
ってきました。道を整備している人に出会った。
ふいに、集会所で別れたグループを思い出した。
今日一日、千早赤阪村のイベントを通じて、金剛山の
自然美を感じ、村の暖かさにもふれる事ができました。
暑い日、汗を流してくださった方々へ感謝の一言。
“ありがとう”



二河原邊・水分道コース整備に参加して

記：東條久男

千早園地でのイベント支援組みと登山道整備班に分かれる。支援班の人数が多く、西野氏の車で「まつまさ」前まで送ってから、先に出発している登山道整備班を追って、桐山道を登る。新緑が芽生えて、さわやかな気分でペースを上げる。登山道に倒木があり、それを切るのにチェーンソーが必要とのことで、担いで登る。バランスが悪く重く感じる。坊領山の下に出る。ここまで急いで、登ってきたが、まだ追いつかない。急登が過ぎ、なだらかな所に来ると、人の話し声が聞こえる。やっと追いついたな思い、水越道に合流。一般の登山者だった。二河原邊・水分道、出合いまで下ってやっと合流できた。弁当食べてからみんなと作業を始める。谷道と尾根道に分かれている所から尾根道の方。二河原邊・水分道入口の桧、杉林が伐採されて丸太や枝が、登山道を塞いでいるのでチェーンソー、のこぎりを使用して、道を開けながら下る。谷道と合流したところで作業終了。二河原邊小屋まで下山。小屋中にテーブルが出来上がり良い休憩場所となりそうだ。お迎えの軽トラに分乗して、集会所へ。支援班がまだなので車で迎えに行く。それぞれの班、お疲れ様でした。

＜次回のご案内＞

5月18日(土)

今回は、弁当・お茶は各自ご持参下さい。

集合場所 二河原邊集会所

時間 9時集合 (*富田林 川西駅 8:30 送迎 出来ます。)

＜作業予定＞

1. 「そば」畑の種まき

・休耕田を借りて登山者に楽しんでいただける「そば畑」(花)を作ります

2. 二河原邊小屋の整備と丸太でベンチ作り

・3月に集めた材料を使って“丸太ベンチ”を作ります